

上毛線再生基本方針（案）に関する意見募集の実施結果

上毛線再生協議会

- ◇意見募集期間 平成29年10月23日（月）～平成29年11月22日（水）
- ◇意見提出者数 4名
- ◇意見の件数 12件

取りまとめの都合上、いただいた意見を要約し、上毛線再生協議会の考え方を説明しています。

なお、方針に直接反映しないご提言・ご意見等については、今後の取組みの参考にしてまいります。

大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

意見の要点	意見に対する考え方
<p>① デマンドタクシーと上毛電鉄を絡めて移動手段が広域で可能なことをPRするとともに、自転車の乗り捨ての仕組みを無人駅に導入してはどうか。</p> <p>② 運転士育成に研修費を自己負担してもらって募集を行ったり、寄付金をつのったり、鉄道ファンにお金を落としてもらう手法はどうか。</p> <p>③ 上毛電鉄を利用している高校生を中心にアイデアを募ってみたらどうか。</p> <p>④ JR や他の私鉄など他社からの車両を購入できないか。</p>	<p>①～③</p> <p>上毛線再生基本方針素案では、沿線市及び群馬県が引き続き必要な公的支援を行うとともに、利用促進に関する取り組みも行うこととしております。上毛電鉄のPR、運転士育成やアイデア募集等に関する内容については、貴重なご意見として、上毛電鉄へ伝えさせていただくとともに、自転車等の二次交通については今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>④ 車両更新については、中古車両の導入についても検討を行いました。が、他社の車両更新時期や車両長の違いなどから導入は難しいと考えます。また、維持費や耐用年数などを考慮するとともに、現在運用中の700形を含めた全体的な車両管理の観点から、次期経営再建計画においては新造による車両更新が妥当であると考えております。</p>

⑤東武鉄道を上毛線へ乗り入れさせ、最新鋭の東武500系「Revaty」も活用し沿線から東京への利便性を確保してはどうか。

⑥各駅ホームに敷設されている視覚障害者の移動に資するための誘導ブロックについて、損傷が目立ち、機能していない箇所が多くあるため、早急に各駅に対し現行規格の内方線付き誘導ブロックを整備することが求められる。

⑦移動制約者に対する情報保障の観点から、各車両への号車番号の表示（車内扉上の路線図掲示箇所及び車外）、客室扉への点字表示の実施並びにプラットホーム乗車位置に対しても号車番号表示及び扉番号の表示があると良い。

⑧上毛線再生協議会は、市民有識者・総合交通政策コーディネーター・大学教授等を加えて「地方公共交通確保維持改善事業」に則る「法定協議会」に移行することを提案する。

⑤東武鉄道と上毛電鉄の信号保安設備等の規格やホームの長さが異なるなど、技術的及び費用的な課題も多いと認識しております。

⑥内方線付き誘導ブロックの整備について、上電各駅は高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）における設置対象にはあたりませんが、貴重なご意見として、上毛電鉄へ伝えさせていただくとともに、誰でも利用しやすい鉄道となるよう上毛電鉄とともに検討していきたいと考えております。

⑦貴重なご意見として、上毛電鉄へ伝えさせていただきます。

⑧上毛電鉄の輸送安全性向上や経営再建を促進するための公的支援を効果的に行うため、今後も群馬県及び沿線市で構成する上毛線再生協議会において、学術関係者等の専門的なアドバイスもいただきながら、地域の重要な交通機関である上毛線の維持存続を図っていきたいと考えています。

⑨上毛電鉄上泉駅に南口を開設し、乗降客の利用促進を提案します。

⑩マイクロライブラリーを無人駅構内に展開できないか検討するなど、駅空間ならびに駅周辺地区を地域住民にとって有用なものにし、鉄道駅を近隣住民の交流拠点として政策的に位置付けていくことも重要である。

⑪「TDM（交通需要管理）」策による「モーダルシフト」策を実行するため、日中を除いて運転区間を3分割（西桐生～赤城・新里、赤城・新里～大胡、大胡～中央前橋）し、「モードチェンジポイント」設置、上毛電鉄からそのまま路線バスに乗り継ぎできるフリー切符の発売、サイクルトレインを拡大しバイクも積載できるようにするなどの策を講じることを提案する。

⑫上毛電鉄のLRT（ライトレールランジット）化に対する諸策を講じ、「モードチェンジポイント」および「パーク＆ライド」施設を建設し前橋・大間々・桐生の中心市街地にクルマが流入しないようにする「TDM（交通需要管理）」策および「TOD（公共交通指向型都市開発）」策を行い、マイカーから上毛電鉄へ利用をシフトさせる策を推進することを提案する。

⑨開設整備には多くの費用がかかるため、費用対効果を考慮しながら慎重に検討を進める必要があると考えております。貴重なご意見として、総合的に検討できるよう沿線自治体及び上毛電鉄へ伝えさせていただきます。

⑩～⑫

駅周辺の交流拠点化やモーダルシフト策、TDM（交通需要管理）やTOD（公共交通指向型都市開発）等の考え方については、利用者増加に向けて重要であると認識しております。貴重なご意見として、総合的に検討できるよう沿線自治体及び上毛電鉄へ伝えさせていただきます。

